

交流で芽生えた友情

ニュージャージー日本人学校(岡村富広校長)は11月22日、学校間交流として、近隣にあるマニトロー小学校3年生の学級を訪れた。

開会式では、相手校の児童による合唱を聞き、パートナーとの交流を行った。初めて会う友達と質問をし合うことで親睦を深めた。

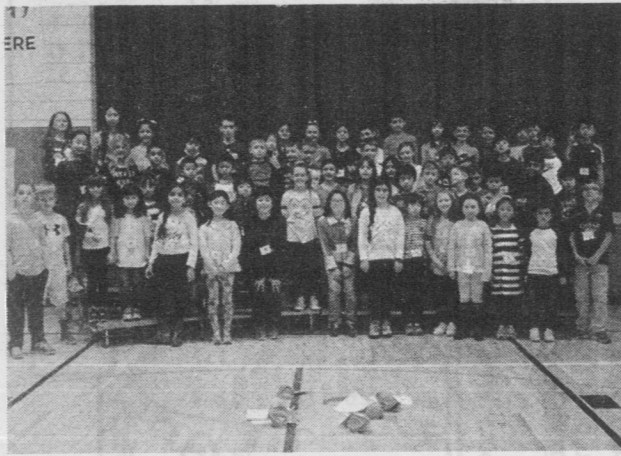
日本文化を紹介する活動として、これまでの学校活動のなかで練習してきた手裏剣の折り方をパートナーに伝授した。多くの児童は「ニンジャ」と反応し、喜んで作っていた。英語が得意ではない子も、「[Oh]」や「[Wise]」などの単語と「like this」という言葉で、折り方を伝えることができた。

この日は、サンクスギビングデー前日ということもあり、マニトロー校の先生が関連した活動を準備してくれ、米国の文化についても楽しく理解を深めることが

できた。

開会式では、練習をしてきた「Count on Me」を一緒に歌い、心が一つになったようだった。別れ際に、抱き合う子、握手をする子、再会を約束する子などが見られ、交流が意義深いもの

NJ日本人学校、マニトロー小と



だったことがうかがい知れた。全体を通して、笑顔にあふれた貴重な交流時間となった。

来年2月には、同校にマニトロー校の生徒がやってくる。帰りのバスの中では、その際にどのような姿で話を話し合う子らの姿も見られた。

学校に戻って、振り返りでは「早く迎えたい」「英語が聞けた。話せた」「初めてアメリカ人の友達ができた」など、楽しさを表現するものばかりで、充実した交流会だったようだ。